

大阪大学図書館報

Vol. 22 No. 1 Apr. 1988

(昭63)通巻92号

○経済学と図書館

○目録システムについて

○本館新玄関取扱及び館内一部改修
なる○昭和62年度購入大型コレクション及び
学術図書について

○教官著作寄贈図書

○会議

○日程

○人事

経済学と図書館

新開陽一

どの大学でも経済学部は文科系に分類されているので、経済学者といえば本の山に囲まれて、読書に明け暮れしているとのイメージが強いのではないか。もしこのイメージが現実に近いとすれば、（個人で所有できる書物は僅かなものであるから）経済学と図書館は不可分の関係にある。経済思想史の分野などではまさにその通りであって、完備した図書館なしには学説思想史の研究はまず無理であろう。

しかし私や私の同僚の多くが研究している英米流の（とりわけ米国流の）経済学の場合には、書物の役割はそれほど大きくない。かつてはそうでなかった。誰でも名前を知っているケンイズは、1936年に出版した一冊の書物で経済学を大きく変貌させたのであった。また、1940年代まではヒックス、サミュエルソン、アローらの大経済学者が、のちにノーベル賞の対象になる書物を刊行していた。だがそれ以降は、重要な仕事のほとんどが雑誌論文の形で公表されている。その意味では経済学は自然科学的になったともいえるのである。

いまかりに私などが論文を書くとすれば、引用文献の大部分は統計・調査報告のような資料と雑誌論文になろう。雑誌論文も新しいものが多く、とくに雑誌に発表される前の、トーシャ刷りの working papers, discussion papers が中心になるはずである。（経済学は自然科学と違って速報誌には恵まれていない。）

雑誌論文あるいは雑誌に発表される前のトーシャ刷りペーパーの場合、中央図書館で一元的に収納管理されると困ることは、多くの研究者が同意されるであろう。一つの学部内であっても建物が別棟になっていれば、そこへ足を運んで雑誌を利用するのでは困るというむき

が多いであろう。雑誌は身近にあって、たえず眺めていることが必要なのである。経済学の場合にはカレントな論文のデータベース化は1年以上も遅れるし、日本においてそれを利用するのも決して容易ではないから、とりわけ雑誌の現物が身近にあって自分で自分用のデータベースを作るしかない。その点ではパソコンが手軽に利用できるようになったので大助かりである。（私自身はもう現役引退なのでデータベースつくりはほとんどしていないが。）

雑誌利用の悩みは価格の上昇である。経済学の分野では細分化したテーマの専門誌が次々と創刊され、年間の購読料はきわめて高価である。他方、校費はまったく増加しないから、新創刊の雑誌の購読はどうしても見送られやすい。既購入で利用価値の低い雑誌の購入を中止すればよいのであり、実際わが学部でも何度かその試みをしたが、中止には必ず反対が出て結局は新規購入のほうを断念することになってしまう。この辺の事情は大学人なら容易に想像していただけるのではないか。バックナンバーの保有スペースも厄介な問題である。雑誌の性格からして古い分の利用価値はほとんどないのだが、廃棄するとなるとやはり反対ができる。手数の問題さえ解決すれば、古いバックナンバーはマイクロフィルムの形で保有することにでもするしかなさそうである。

もし書物が研究上重要な役割をになうとするなら、それは理論や統計分析手法の到達点を解説するハンドブック、大学院上級レベルの教科書である。これらはcookbooksなどと呼んで重宝しているむきは多いが、cookbooksを図書館のお世話になるわけにはいかない。通常は自費で購入して、赤青の印をつけたり、ポストイット葉をつけたりして利用するのは当然である。

他によく利用する書物はコンファレンスやワークショップの議事録であり、これに記念論文集を加えてもより。これらは質のうえで玉石混交であるし、発行数も多いので、私費で購入することは稀と思われるが、他方では重要な研究成果が含まれる場合も多いので無視はできない。すなわち校費で購入して図書館に収蔵していただくことになるわけである。

さらに考えてみると、英米流の経済学の研究者といえども、書物を読むケースは決してすくなくはない。たとえば大恐慌の経験をふりかえるとすれば、まず1930年代いらいの研究書を読むのが常道である。さらに（自然科学とは違って）経済学のあり方にたいする反省もしばしばなされるが、そのさいは古典に回帰せよとの発言がでてきて、古い書物を読むことになる。

結局のところ経済学と図書館の関係はなかなか深いという平凡な結論に落ち着くようである。

（しんかい ようぞう 豊中地区運営委員会委員長・経済学部教授）

目録システムについて

山 下 進

1. はじめに

学術情報システム構想の一環として、昭和58年1月より運用管理業務（図書の貸出、返却、予約のオンライン業務）、図書管理業務（予算管理、受入、支払業務）、雑誌のオンライン受付業務のスタートを皮切りに本学附属図書館の業務電算化新システムが稼動した。その後他の業務システムも順次開発され、現在検索システムが間もなく稼動出来る状況にあり、こ

れによって本学の附属図書館トータルシステムは完了する。

ここでは学術情報センター（以下センターという）目録システム接続により、昭和62年2月に稼動した本学の目録システムについて、その中心となるセンター目録システムに沿って紹介する。

2. 目録システムの開発にあたって

本学の目録システムを開発する上での基本方針として、センター目録システムとの接続利用を前提とし、手作業の業務を単に機械に置き換えるだけでなく、業務機械化によって省力化される部分を他のより幅広いアクティブな利用者サービスにあて、特に多様化する情報検索の要求に対応出来るものにしていくため次のことを目標に置いた。

(1) 業務処理形態

学術情報センター目録システム（以上センターシステムという。）に準じて本学でも各分館、分室からの目録データの各個入力が可能になるようにし、オンラインによる共同・分担目録（オンライン・シェアード・カタロギング）により阪大総合目録データベースを作成すること、およびそれを利用し業務の省力化をはかる。

(2) 目録様式の標準化

センターがもっているオンラインによる各種M A R C（オンライン目録登録のために用意された機械可読目録）の利用によって標準目録規則（N C R：日本目録規則、A A C R 2：英米目録規則第2版等）により目録様式の標準化をはかる。

(3) 目録形態

機械化のメリットを最大限に生かすために、業務稼動の開始時点から現行カード式目録を廃止しオンライン目録に切り換えることを検討している。

(4) 遷及データ目録

利用者の書誌・所蔵検索要求に十分応えるため、特に要求の強い人文・社会学系図書の遷及データ入力を検討していく。

(5) 業務実態の把握

本学附属図書館は豊中、中之島、吹田地区に本館、分館、分室と分散して業務を行っているため独自な業務処理形態をとっている場合も多い。それらの現状を十分把握し本館、分館を組織の核と位置づけし、各分室の特色を損うことなく全学オンラインネットワークを作成出来るシステムにする。

3. センター目録システム

ここで本学の目録システムと密接な関係をもち分担入力を行っているセンターシステムの特徴的なことについて触れておく。なおシステムの詳細については参考文献を参照していただきたい。

周知のとおり学術研究の急速な進展に伴い、生産される学術情報の量的拡大と質的多様化は加速的に進んでいるが、この学術情報の最大の利用者である研究者等の要求に応えるためにセンターが発足した。センター設置の目的は厖大な学術情報資源を有する全国の大学等の図書館の図書、雑誌の目録所在のデータベースをつくっていくことであり、これを推進するため昭和60年度より目録所在情報サービスが開始された。

このセンターの中心となるサービスのシステムは、①図書・雑誌目録システムと②I L L（Inter-Library Loan：図書館間相互貸借）システムであるが、ここでは特に“図書”的

録システムについて述べる。

このシステムの主な機能として、前述のオンラインによる共同・分担目録作成とその成果である総合目録データベースの作成、そしてそのデータベースのデータ間の整合性を維持する標準化機態を持っている。

(1) 総合目録データベースの構成

構成図は〔図1〕に示すように中心部“A”的「総合目録データベース」の部分は総合目録と典拠（著者又は著作についての根拠となる情報）が含まれ、データベース化した目録の所在を示す情報であり、センターが開発したオンライン目録システムを利用し、各大学等の図書館が共同して分担入力をすることによって作られる。入力の主体はセンターネットワークに参加している図書館等である。その外側の“B”的「参照ファイル」には総合目録データベースを作っていく上で直接参照引用出来るM A R C（既出）があり、総合目録データベースのファイル（後述）形式にあわせて変換されている。そしてさらにその外側の“C”はオリジナルデータおよび変換される前のM A R C（既出）の領域である。

(2) 総合目録データベースのファイル

書誌、典拠（既出）、所蔵の各データの集まりをレコード（例えば書誌レコードであれば標題【書名など】、著者、出版者などが含まれる）と呼び、1枚毎の書名目録カードの集まりが“書名目録”であるように、さらにその集合をファイルと呼ぶ。

ファイルは大きく書誌ファイル、典拠（既出）ファイル、所蔵ファイルおよび参加組織ファイルから構成されている。書誌ファイルはセンターネットワークに参加する各大学図書館等が所蔵する図書の書誌的内容を記録し、典拠（既出）ファイルは検索対象となる著者または著作を扱う。所蔵ファイルは参加する大学図書館毎の所蔵内容を記録する。また参加組織ファイルはセンターネットワークに加入した図書館についての情報を記録する。

従来の目録カードと目録システムでのレコードの関係を〔図2〕で示したが、1枚の目録カードで表わされていたものが3つのレコードに分割され、各々該当のファイルにおさめられている。そしてファイルの構成単位である各レコードは〔図3〕で示すようにリンクという方法で関連づけることが出来る。

(3) 目録作成対象の捉え方

センターシステムでは図書の目録を作成する対象の単位を従来の目録カードとは違った考え方をしている。それは、①著者等によって他と区別出来る「固有の標題」をもつもの（物理的に1冊あるいは出版の都合上分冊で刊行されたもの。但し各巻は上、下等のように独自の標題（既出）を持たないもの、これを単行書誌単位という）と②物理的に複数の資料からなり、個々の資料も、全体としても①と同じ意味で他と区別出来るもの、個々の資料を単行書誌単位、全体を集合書誌単位と呼ぶ（シリーズ、セット、全集ものなど）と以上のように対象単位を捉える考え方である。

(4) 検索について

〔図4〕で簡単な検索例を示したが、レコード間にリンクづけを行うことによって関連した検索が可能である。これは従来のカード式目録での検索と大きく異なる点である。

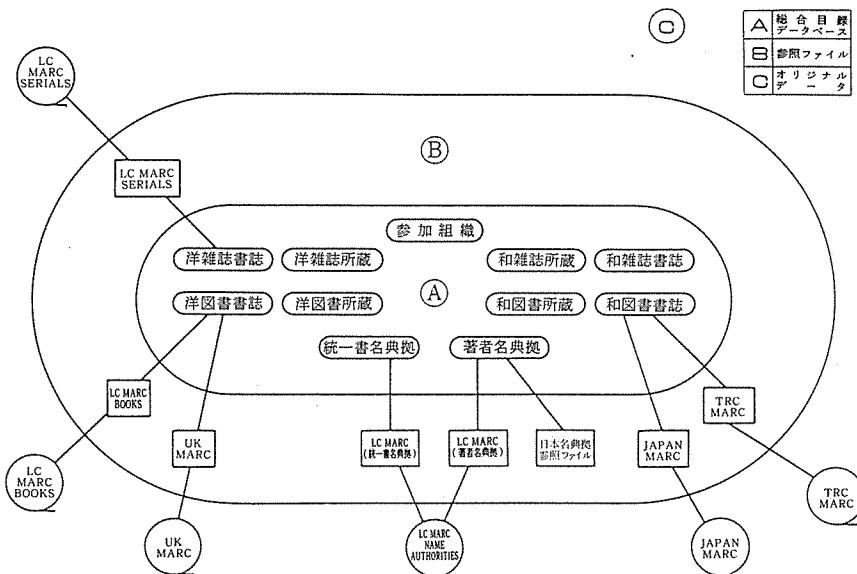
4. おわりに

ローカルの目録システムはセンター目録システムに直結しているので、その意味では当然センター側に全面的に依存している。しかしシェアードカタロギング（既出）の基本を踏まえ、より良い総合目録データベースをつくっていくのだという姿勢を常に持って業務を行つ

ていく必要があると思う。

本格稼動を開始して1年が過ぎた。センターネットワーク参加館が増えたことにより、総合目録データベースのデータ件数が大幅に増え、オンライン目録の作成時間が1年前と比較してかなり短縮されてきたが、このシステムを使っていく上でまだ改善しなければならない点も多い。それらを参加館の協力のもとに1つ1つ解決していくながら利用者の情報要求に十分応えられるものを実現していきたいと考えている。

[図 1] 目録システムデータベース構成図



[図 2] 従来の目録カードと目録システムの各レコード

② 典拠レコード(標目)

913.6 Si	② シイナ, マコト
	③ ① 岳物語 椎名誠著
	東京 集英社 1985
	252 p 22 cm
学情セ S87003	1. ガク モノガタリ al. シイナ, マコト

① 書誌レコード

③ 所蔵レコード(請求記号, 所在箇所)

[図3] 総合目録データベースのレコード間の関連づけ(リンク)の1例

- ① 書誌レコードと書誌レコード
- ② 書誌レコードと典拠レコード
- ③ 書誌レコードと所蔵レコード

(書誌ファイル)

U IDLE KBD
和図書書誌詳細表示 003 N C R 03.05
>:
<BN00152977>
GMD: SMD: YEAR: 1986 CNTRY: jaTLL: jpNTXTL: jpNORG:
VOL: ISBN: 4000076736 PRICE: 3400 円 NBN: JP86030901
TR: 日本の川 / 阪口豊[ほか]著 ||| ニキシノカワ
PUB: 東京 : 岩波書店, 1986.3
PHYS: 248p ; 23cm.
NOTE: 文献:p.233~237
PTBL: 日本の自然 / 貝塚寅平[ほか]編 ||| ニキシノカワ <BN00152999> 3//b
AL: 阪口, 貝塚寅平, イタカ <DA00193924>
CLS: NDC8:402.91
CLS: NDLC: M74
CLS: NDLC: RA145
SH: NDLSH: 地形学//L
SH: NDLSH: 河川//L

①

(書誌ファイル)

U IDLE KBD
和図書書誌詳細表示 003 N C R 03.05
>:
<BN00152999>
GMD: SMD: YEAR: CNTRY: jaTLL: jpNTXTL: jpNORG:
VOL: ISBN: PRICE:
TR: 日本の自然 / 貝塚寅平[ほか]編 ||| ニキシノカワ
PUB: 東京 : 岩波書店
PHYS: 8冊 ; 23cm.
VT: TL: Nature in Japan
AL: 貝塚, 寅平(1926-) ||| カイスイカ, ソウハイ <DA00144190>
CLS: NDC8:402.9

③

(典拠ファイル)

U IDLE KBD
著者名典拠詳細表示 003 N C R 03.05
>:
<DA00193924>
HDNG: 阪口, 豊 ||| カクヒチ, イタカ
TYPE: p
NOTE: 「日本の自然 3 日本の川」の共著者
NOTE: 東京大学理学部

(所蔵ファイル)

U IDLE KBD
和図書所蔵詳細表示 003 <BN00152977> R 03.05
>:
<BN00152977> 日本の川 / 阪口豊[ほか]著. -- 1986. -- (日本の自然 / 貝塚寅平[ほか]
編 ; 3).
<FA002848> 版大
<CD0001147577>
LOC: 教地学 CLN: 402.91/NIP/3RGTH: 86GE041606
LDF: \$M1B

[図4] 検索例

(1)

```

U IDLE KBO          022      NC          R 03.05
著者名典拠詳細表示          1 /   1
>:LOOKUP BIBLIOGRAPHY
<DA00151899>
HDNG: 夏目, 漱石(1867-1916) ||ナツメ, ソクセキ
TYPE: p
DATE: 1867;1916
SF: 夏目, 金之助 ||ナツメ, キンノスケ
SF: Natsume, Sôseki
NOTE: 文化人名録による。

```

"Lookup Bibliography" で
夏目漱石の著作を検索

```

U IDLE KBO          012      NC          R 03.05
和図書書誌検索・簡略表示          1 -   10 / 46
>:DISPLAY 7
TITLE =
AUTH =
AKEY :           ISBN:           NBN:           NDLCN:
PUB =           YEAR:          CTRY:          LANG:
PLACE =
SH =
WORDS =
ID :           PID:
FILE :
1.<BN00255051> 夏目漱石全集 ; 1 - 別巻。-- 1971. -- (筑摩全集類聚)。
2.<BN00397602> 夏目漱石・森国外 / 真雄伸彦責任編集。-- 1974. -- (日本の名著 ; 42
).
3.<BN00819259> 漱石全集 / 夏目漱石著。
4.<BN0081950X> こころ : 剧 / 夏目漱石著。-- 1984.
5.<BN00925030> 文学評論 / 夏目漱石著。-- 1941. -- (岩波文庫)。
6.<BN00940056> 効つちゃん / 夏目漱石著。-- 1929. -- (岩波文庫 ; 537-537a)。
7.<BN00940089> 吾輩は猫である / 夏目漱石著 ; 上, 下。-- 1938. -- (岩波文庫 ; 16
19-1622)。
8.<BN00941671> 明暗 / 夏目漱石作 ; 上, 下。-- 1933. -- (岩波文庫 ; 927-928a)。
9.<BN00941773> 三四郎 / 夏目漱石著。-- 1938. -- (岩波文庫 ; 1688-1689)。
10.<BN00946245> 思い出す事など・修善寺日記 / 夏目漱石著。-- 1941. -- (岩波文庫 ;
2582-2583)。

```

"Display 7" で 7 番目の書誌の
詳細画面を表示

```

U IDLE KBO          016      NC          R 03.05
和図書書誌詳細表示          7 /   46
>:LOOKUP PARENT
<BN00940089>
CMD: SHD: YEAR: 1938 CTRY: jaTTL:jpnTXTL:jpnORG:
VOL: 上 ISBN:           PRICE:
VOL: 下 ISBN:           PRICE:
TR: 吾輩は猫である / 夏目漱石著 ||ワカホイ ウキコ テ アル
PUB: 東京 : 岩波書店 , 1938
PHYS: 2冊 ; 15cm
PTBL: 岩波文庫 ||イワナミ フンコ <BN00015783> 1619-1622a//a
AL: 夏目, 漱石(1867-1916) ||ナツメ, ソクセキ <DA00151899>
CLS: NDC8:913.6

```

"Lookup Parent" で接続している
集合書誌(シリーズ)を検索

```

U IDLE KBO          003      NC          R 03.05
和図書書誌詳細表示          1 /   1
>:
<BN00015783>
CMD: SHD: YEAR:           CTRY: jaTTL:jpnTXTL:jpnORG:
VOL:           ISBN:           PRICE:
TR: 岩波文庫 ||イワナミ フンコ
PUB: 東京 : 岩波書店
PHYS:

```

(2)

U IDLE KBO 和図書書誌詳細表示	016	N C	R 03.05 1 / 1
>:LOOKUP AUTHOR			
<BN00769004>			
GMD: SMD: YEAR:1986CNTRY:jATLL:jpnTXTL:jpnORG:			
VOL: ISBN:4492210202PRICE:4300円NBN:JP87008530			
TR: 戦後日本の圧力団体 / 村松岐夫〔ほか〕著 IISIC: ニキンノアクリヨクタシタイ			
PUB: 東京 : 東洋経済新報社 , 1986.12			
PHYS: 283, 25p ; 22cm			
NOTE: 卷末:参考文献			
AL: 村松, 岐夫(1940-) IIMURA M., MITSUO <DA00514008> [ほか]著			
CLS:NDC8:315			
CLS:NDLC:A56-Z			
S:H:NDLSH:圧力団体//L			

"Lookup Author" で
著者の詳細を表示

U IDLE KBO 著者名典拵詳細表示	003	N C	R 03.05 1 / 1
>:			
<DA00514008>			
HDNG: 村松, 岐夫(1940-) IIMURA M., MITSUO			
TYPE: p			
DATE: 1940			
NOTE: 京大・法・教授『戦後日本の官僚制』			

(3)

U IDLE KBO 和図書書誌詳細表示	018	N C	R 03.05 1 / 1
>:LOOKUP HOLDINGS			
<BN00769004>			
GMD: SMD: YEAR:1986CNTRY:jATLL:jpnTXTL:jpnORG:			
VOL: ISBN:4492210202PRICE:4300円NBN:JP87008530			
TR: 戦後日本の圧力団体 / 村松岐夫〔ほか〕著 IISIC: ニキンノアクリヨクタシタイ			
PUB: 東京 : 東洋経済新報社 , 1986.12			
PHYS: 283, 25p ; 22cm			
NOTE: 卷末:参考文献			
AL: 村松, 岐夫(1940-) IIMURA M., MITSUO <DA00514008> [ほか]著			
CLS:NDC8:315			
CLS:NDLC:A56-Z			
S:H:NDLSH:圧力団体//L			

"Lookup Holdings" で 所在情報の検索 (相互貸借の申込、受付の
メッセージ交換にも使用する)

U IDLE KBO 和図書所蔵検索・簡略表示	013	<BN00769004>	R 03.05 1 - 17 / 17
>:DISPLAY 14			
<BN00769004> 戦後日本の圧力団体 / 村松岐夫〔ほか〕著. -- 1986.			
MLID: LOC: AREA: ATTR:			
M L N M =			
1.<FA002451>名大教教育			
2.<FA0011769>東大経図書			
3.<FA0012111>北大環図書			
4.<FA001798>東大薬図書			
5.<FA001787>東大語開架			
6.<FA001007>北大圖			
7.<FA001608>茨大圖			
8.<FA000106>東工大圖			
9.<FA002407>名大中央館			
10.<FA001743>埼大圖			
11.<FA0011849>東大社研図書			
12.<FA001379>東北大本館			
13.<FA003090>奈女大			
14.<FA002848>阪大教経			

"Display 14" で14番目の所蔵の詳細表示

U IDLE KBO 和図書所蔵詳細表示	003	<BN00769004>	R 03.05 14 / 17
>:			
<BN00769004> 戦後日本の圧力団体 / 村松岐夫〔ほか〕著. -- 1986.			
<FA002848>阪大			
<CD0004220683>			
LOC:教経CLN:315/SENRGTN:87GE011327			
LDF:\$M1			

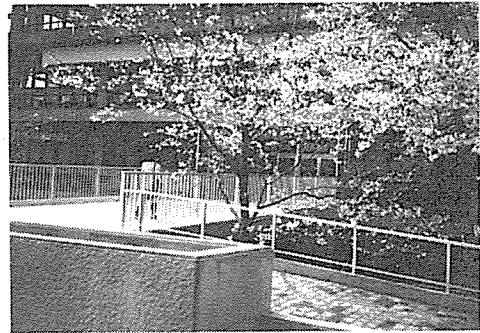
[参考文献]

1. 文献情報センターニュース
2. 学情情報センターニュース
3. 目録システム利用マニュアル (データベース編、検索編、登録編)
4. 目録所在情報サービス利用の手引

(やました すすむ 情報管理課・和漢書目録掛長)

本館新玄関取設及び館内一部改修なる

附属図書館（本館）は、数次に亘り増築が行われ、東西両側に玄関が設置されていました。また昭和61年度の本学基幹整備工事に伴ない、東玄関が撤去され、西玄関が使用されていました。そのため基礎工学部、理学部等の方に多大の不便をおかけしていました。このたび、附属図書館本館新玄関取設工事が行われ、この3月7日に新しい玄関が設けられ、同時に館内的一部改修工事も行われました。今回の新玄関および館内の改修工事にあたり考慮し、改善された主な点は次のとおりです。



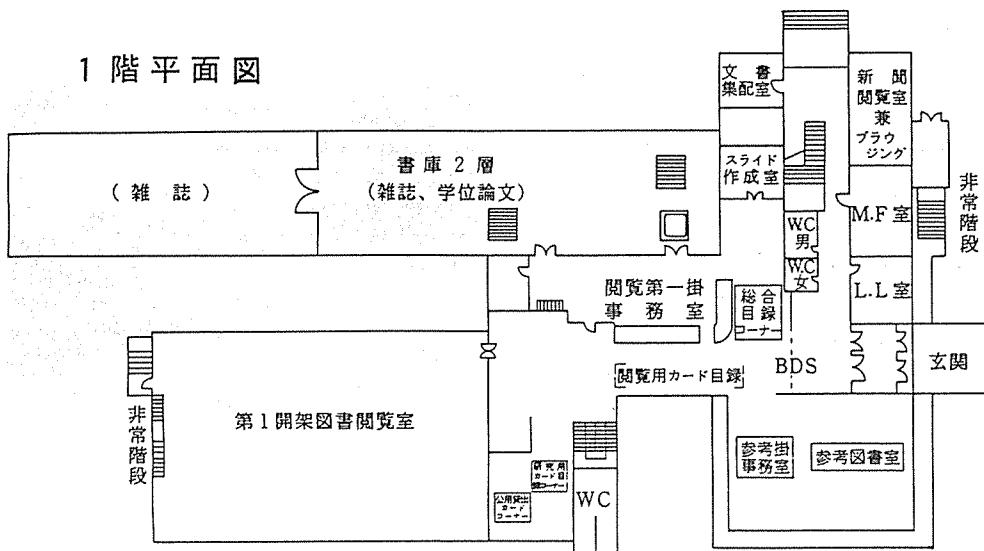
- (1) 新玄関を東西の中央に設置することにより、キャンパス内利用者の動線の均衡を考慮した。
- (2) 図書館の出入口を一元化し、利用者の動線を単純化することにより、入館者管理システム等の改善を計った。
- (3) ハンディーキャップ学生のために新玄関をスロープ化した。
- (4) 新玄関周辺を緑化し、美観等の環境整備を行った。
- (5) 2階にあった参考カウンターを1階に移し、貸出カウンターと参考カウンターを同一フロアにすることにより、利用者の利用目的に応じたサービスの改善を考慮した。
- (6) 館内の狭少感を改善するため、利用者がゆったりと休息出来るブラウジング・コーナ等を新設した。
- (7) 利用者が便利なように、館内施設の改修および共同研究室等の新設を行った。
- (8) 改修に伴ない、利用者が利用しやすいように、資料の機能的な再配置を行った。

以上が主な改善点ですが、予算の都合で当初計画していた館内施設の改善や設備の充実等がまだ不充分であります。利用者のご意見や希望を聞きながら、今後さらに改善をしていく必要があると考えています。

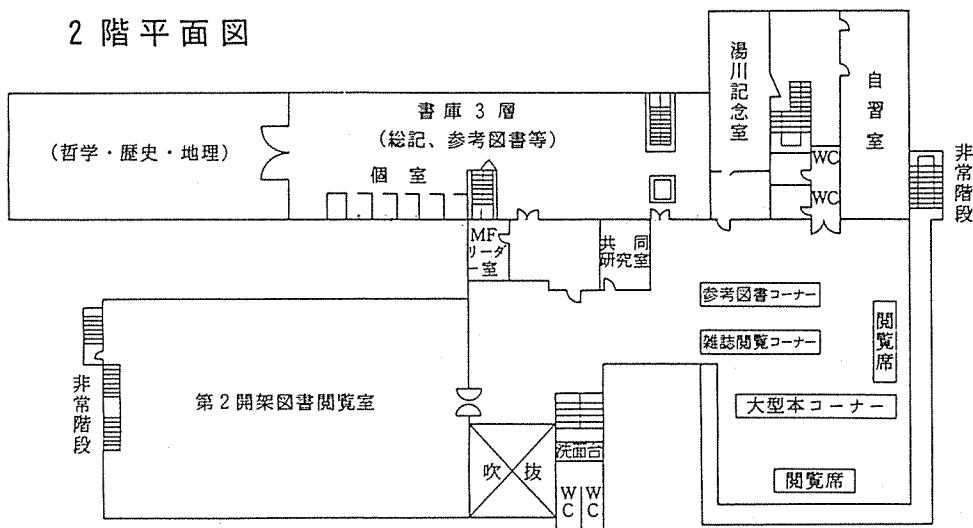
最後に、今回の新玄関および館内改修工事に対して、色々とご協力してくださった事務局の方や関係者の方に厚くお礼を申しあげます。

なお、新玄関取設により館内施設の一部改修を以下の平面図により示します。

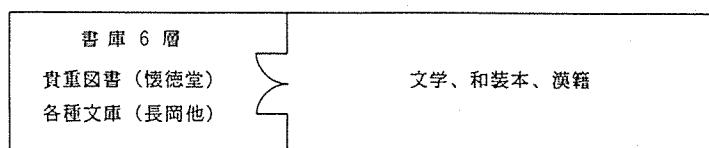
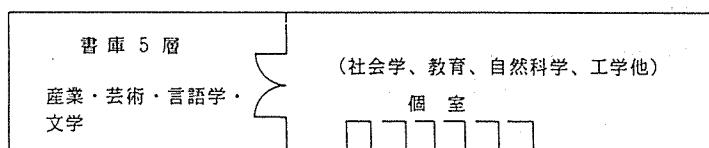
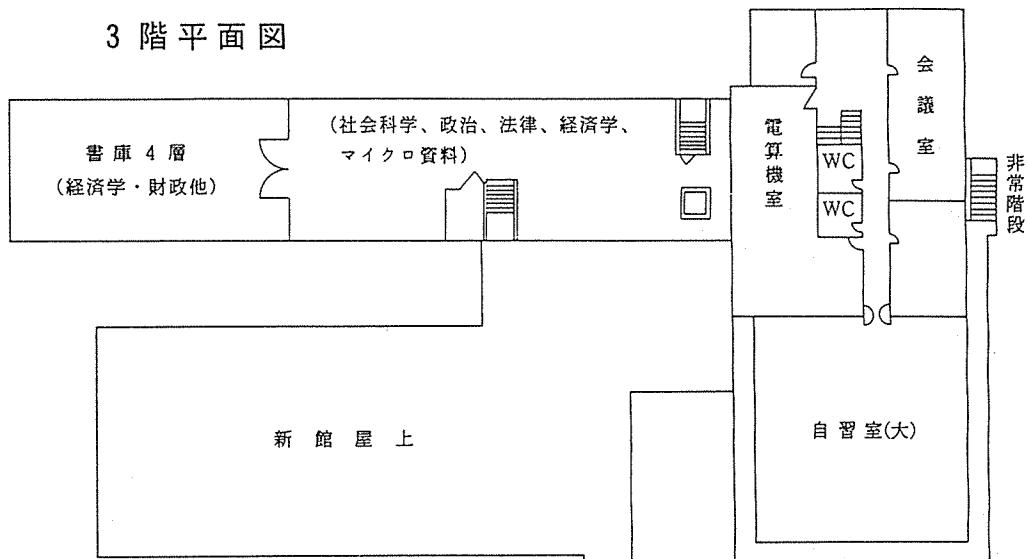
1階平面図



2階平面図



3階平面図



昭和62年度購入 大型コレクション及び学術図書について

昭和62年度補正予算にかかる外国学術図書購入費により、アダム・スミスの著作、彼についての研究コレクション等を購入したのでここにその一端を紹介し、利用されることを願うものである。

1. 大型コレクション

(1) アダム・スミス著作、研究コレクション（本館備付）

本コレクションはその主者「国富論」(An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nation)によって科学としての経済学の体系をはかり、古典派経済学の創始者であり、また道徳学者でもあるイギリス人のアダム・スミス (Adam Smith 1723—1790) の著作、評論、伝記、研究書等を集めたもので、中でも前出の「国富論」は1776年の初版本、同ダブリン版（初版 1776）の他フランス語訳（1781）、ドイツ語訳（1776—78）、イタリア語訳（1790—91等）の諸版、翻訳本を含んでいる。また彼の蔵書票が貼布されている彼の旧蔵書、彼への書評、批判書である J. ベンサム「高利の擁護」(J. Bentham : Defence of Usury, 2 nd. ed. 1790) や彼の著作である「哲学論集」の初版本 (Essays on Philosophical Subjects, 1795) などがある。このコレクションは全体として次の10種類に分けることができ、80点141冊のオリジナル図書から成っている。

William Hamilton's "Poems on Several Occasions"

The Theory of Moral Sentiments

An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of the Nations

The Life of David Hume

Essays on Philosophical Subjects

Lectures on Rhetoric and Belles Letters

The Works of Adam Smith

Rare Early Reviews, Summaries, and Criticism of Adam Smith and his Works

Biographical and Critical Studies Relating to Adam Smith

Books from Adam Smith Library

(2) カント・コレクション（本館備付）

本コレクションはドイツ観念論の創始者イマニュエル・カント (Immanuel Kant, 1724—1804) の著作、研究書を集成した総括的なコレクションである。「純粹理性批判」、「実践理性批判」、「判断力批判」等彼の主要著作のほとんどの初版および諸版、翻訳版の多くが集録されている。「純粹理性批判」に限っていえば1781年の初版本をはじめ21種類の版を揃えている。またカント関連図書としてラインハルトの「人間の表象能力の新理論試論」(1789 初版本)、シェリングの「先驗的觀念論の体系」(1800 初版本) 等をはじめ、400点以上がこの中に含まれ18、19世紀刊行の文献が多数ある。このコレクションは620点722冊のオリジナル図書から成り、次の6つのジャンヌに分けることができる。

Works by Kant

Collected Works Selections and Letters, etc. by Kant

Biographies and Reference Works

Critical Works on Kant 18th and 19th Centuries

Critical Works on Kant 20th Century

Important Source Books for Kant

(3) 米国連邦議会関係資料（本館備付）

アメリカ合衆国連邦議会上・下院の関連資料のうち、1789年から1986年までの委員会報告書、文書類並びに1941年から1972年までの法案、決議、法を本資料はマイクロフィルム化したものである。その内容は大きく次の2つに分けることができる。

① 米国連邦議会委員会報告書、文書集成 1789年～1986年 (U.S. Congressional Publications: Serial Set, 1789～1986)

これは第1回議会（1789～1790）から第99回議会（1985～1986）までの上・下院の委員会報告書及び文書類を議会毎に収録したものである。

② 米国連邦議会法案、決議、法集成 1941年～1972年 (U.S. Congressional Bills, Resolutions and Laws, 1941～1972)

第77回議会（1941～1942）から第92回議会（1971～1972）までの上・下院のあらゆる法案に関する原法案、修正案、両院共同決議、両院同意決議、各院単独決議、公法の全文を各議会毎の法案別に収録したものである。

2. 学術図書

本予算にて50点の外国学術図書を購入した。備付館別にその主なものあげると次のようない内容のものである。

[本 館]

(1) Bibliotheca Shakespeariana. 6 Units (Unit 1, 2, 6, 8, 20, 23) (Pergamon)

これは世界の主要図書館に所蔵されているシェークスピアに関する文献約3000点を30の主題Unitに収録したもののうち、次の既刊分である6 Unitsを購入したものである。

Unit 1 : Shakespeare's Life, Fictions and Speculations, Part I

Unit 2 : Shakespeare's Life, Fictions and Speculations, Part II

Unit 6 : Shakespeare's Editors Since Rowe

Unit 8 : Printing and the Book Trade.

Unit 20 : The Theatre and its Players in Shakespeare's Time

Unit 23 : Adaptations and Acting Versions, 1660～1980

(2) Catalogue Général des Manuscrits des Bibliothèques Publiques de France.

（フランス全国公共図書館手稿総目録）（1979～1984）

これはフランスにおけるそれぞれの図書館の沿革、資料群の由来や構成上の特徴が詳しく説明された説明文があり、それぞれの手稿資料についてタイトルのほか、資料の状態、ページ数あるいは枚数、サイズ、出所等が記載されている。本手稿総目録には一部に文書館所蔵の資料も含まれているが、Bibliothèque Nationale所蔵の手稿目録は含まれていない。

(3) Documents on Education in Germany from 1700 to 1870.

これは18～19世紀におけるドイツ教育思想、教育学に関する文献267点が集成されたもので、August Hermann Franke, Johann Bernhard Basedow, J.H. Campe, Chr. G. Salzmann, J.C.F. Guts Muths, J.H. Pestalozzi, Fr. Fröbel, J. Fr. Herbart

の著作等が含まれている。

- (4) English Experience; Book Printed in England before 1640. Group 1-14 (Vol. 1-964) (Teatrvm Orbis Terrarvm)

これは初期近代英語、英文学研究の基礎資料で、「英國近世初期刊本簡略書名目録」に収められている25,000冊から約1,500冊を厳選し、複刻したものである。

- (5) U.S. Non-Decennial Census Publication 1820~1967 (CIS)

これは米国商務省国勢調査局から1820年から1967年にかけて刊行されたDecennial Census以外の国勢調査報告書を収録したものである。

- (6) 米国六大学出版局新刊図書

これに含まれる図書は米国の大学出版局のうちでUniversity of California Press, University of Chicago Press, Harvard University Press, MIT Press, Princeton University Press, Yale University Pressの刊行にかかる人文・社会・自然科学の各分野における新刊図書2,411冊である。

[中之島分館]

- (1) The CIBA Collection of Medical Illustrations, Vol. 1-7, Miscellaneous (CIBA-GEIGY Corp.)

これはFrak H. Netterの原著7巻に収録されている図譜はもちろん、それ以後の最新かつ重要な図譜とともに作成された資料で、医学教育、臨床研究、患者教育に最適である。

- (2) Handbook of Experimental Pharmacology, (Springer)

(実験薬理学ハンドブック)

- (3) Rehabilitation and Handicapped Literature (1950—1985) (UMI)

この内容はリハビリテーションと身体障害の分野における米国の文献を中心にして編集されている。基礎文献としては米国リハビリテーション情報センター(NARIC)が所蔵している1500点の文献によっている。

[吹田分館]

- (1) ACS Symposium Series (1981~1987) (American Chemical Society)
(アメリカ化学協会シンポジウムシリーズ)

- (2) 1987 Annual Book of ASTM Standards, 16 Sections (American Society for Testing and Materials)

(アメリカ試験・材料学会標準規格書 1987年版)

- (3) Encyclopedia of Plant Physiology, New series, (Springer)

植物生理学分野の不朽の大著としてHandbuch der Pflanzenphysiologie (1955~1967)が挙げられるが、分子生物学的な研究法をはじめとする近年の生化学・生物物理学的な研究進歩により、この新シリーズとしてEncyclopedia of Plant Physiology, New seriesが刊行された。

- (4) Physical Sciences Data, (Elsevier)

(物理学データシリーズ)

(5) TRC Thermodynamic Table (1985)

これはテキサス・エ・アンド・エム大学熱力学研究センター (TRC) において1985年から発行されており、TRC Thermodynamic Tables: Hydrocarbon (旧Hydrocarbon ProjectのカテゴリーA) とTRC Thermodynamic Tables: Non-Hydrocarbon (旧Data ProjectのカテゴリーA) の2編からなる。TRC HydrocarbonとTRC Data Projectの両データ集にあったカテゴリーB、C、D、E、F、Gは1985年からTRC Spectral Dataのシリーズに入った。

教官著作寄贈図書

—昭和63年4月までに受入した資料—

一本館—

波多 節夫 (言文・教授)

バロックの生活 (叢書・ウニベルシタス
228) ベーター・ランシュタイン著 波
田節夫訳

(法政大学出版 昭63)

久貴 忠彦 (法・教授)

親族・相続法

久貴忠彦・川井 健編

(青林書院 昭63)

森山 卓郎 (文・講師)

日本語動詞述語文の研究

(明治書院 昭63)

矢守 一彦 (文・教授)

城下町のかたち

(筑摩書房 昭63)

一中之島分館—

大城 孟 (医・講師)

臨床ハプトグロビン

(永井書店 昭62)

図説 末梢血管外科

(医学書房 昭62)

小塚 隆弘 (医・教授)

心臓の画像診断

(丸善 昭63)

熊原 雄一 (医・教授)

老年病のすべて

(創元社 昭63)

臨床検査診断学・中央臨床検査部

大阪大学医学部臨床検査診断学・中央臨

床検査部業績集

業績集刊行委員編

(業績集刊行委員会 昭62)

田口 鐵男 (微研・教授)

New trends in cancer chemotherapy
with mitomycin C1 Taguchi Tetsuo,
Andrysek Oskar

(Excerpta Medica 1987)

癌と免疫

田口鐵男監修

(メディカル レビュー社 昭63)

一吹田分館—

岡田 光正 (工・教授)

パソコンによる建築計画

(朝倉書店 昭63)

建築規模論 (新建築学体系 13)

岡田光正 高橋鷹志

(彰国社 昭63)

小松 定夫 (工・名誉教授)

離散化モデルの構造解析

(丸善 昭62)

中村 勝吾 (産研・名誉教授)

34th International field emission
symposium

(Les Edition de physique 1988)

鳴海 邦穎 (工・教授)

景観からのまちづくり

(学芸出版社 昭63)

園田 昇（工・教授）

有機化学演習

岡田 昇 龜岡 弘編

(産業図書 昭63)

横山 昌弘（レーザー研・教授）

プラズマ理工学 一大電流プラズマ現象
とその応用一（日刊工業新聞社 昭63）

—薬学部分館—

近藤 雅臣（薬・教授）

新版 衛生微生物学

近藤雅臣 藤野恒三郎 奏 藤樹編

(講談社 サイエンティフィク 昭63)

会議

一分館長会議

63. 3. 3 (木) 15:00~17:20 (本館・館長室)

報告事項：1. 主要行事について。事務部長から各種行事、各委員会の活動状況について報告があった。2. 生命科学図書館新設について、中之島分館長から生命科学図書館新設移転要求及び方針について経過報告があった。3. 生命科学図書館情報システムへの要望について。中之島分館長から生命科学図書館移転に伴う情報システム化を計画するに当り、医学部情報処理検討委員会委員長より要望が出されている旨報告があった。4. 本館書庫収蔵力について。閲覧課長から本館書庫の収容力が限界にきている旨報告があり、対応策について協議された。

協議事項：1. 大型コレクションについて。整理課長から外国学術図書購入費による購入経緯についての説明の後、種々協議のうえ原案どおり承認された。2. 昭和63年度図書館事業費予算要求書（案）について。整理課長から資料にもとづき、各項目別に説明があり、審議の結果、承認された。3. 昭和64年度図書館新規概算要求書（案）について。事務部長から資料にもとづき説明があり、了承された。

—豊中地区運営委員会—

63. 3. 9 (水) 13:00~14:45 (本館・会議室)

報告事項：1. 本館玄関取設工事について。閲覧課長から本館新玄関取設工事竣工に伴い3月7日より新玄関を使用し、西玄関は閉鎖したことの報告があった。2. 閲覧課長から「いちょう祭」の展示内容の説明があった。

協議事項：1. 大型コレクションについて。整理課長から外国学術図書購入費による購入経緯等についてリストにより説明があり、協議の結果、承認された。2. 昭和63年度基本参考図書について。整理課長から購入リスト案にもとづき説明があり、協議の結果承認された。3. 本館書庫収蔵力について。閲覧課長より本館書庫の収容力が限界にきている旨データにより説明があり、同時に廃棄基準の作成を検討中である旨報告があった。なお書庫の収容力の増について抜本的な方途を検討していきたい旨事務部長より説明があった。4. 次期委員長の選出について。現委員長の任期満了（昭和63年3月31日）にともなう、次期委員長候補者の選考を行った結果、経済学部教授 新開陽一を選出した。5. 図書館体系検討小委員会の改選について。委員長から豊中地区選出の委員のうち近く任期満了となる後任委員の選出につき、昭和62年2月10日委員会了承による選出方法で選出することが確認され、理学部吉川圭二 教授(理)、法学部 林 毅 教授(文法経)が選出された。

—図書館委員会—

63. 3. 9(水) 15:00~16:45 (本館・会議室)

報告事項：1. 事務部長から各種行事、会議について、また豊中地区運営委員会委員長から同委員会の報告があった。2. 生命科学図書館新営について。中之島分館長がら生命科学図書館新営・移転に関するワーキング・グループの検討状況等について説明があった。3. 生命科学図書館情報システムへの要望について。中之島分館長から同分館新営・移転に際し医学部情報処理検討委員会よりの要望につき検討中である旨説明があった。4. 本館書庫収蔵力について、事務部長から本館書庫の収容力が限界にきている旨説明があり、種々質疑応答があった。

協議事項：1. 大型コレクションについて、事務部長および整理課長より62年度外国学術図書購入費による購入経緯等につき説明があり、協議の結果承認された。2. 昭和63年度図書館事業費予算要求書（案）について。整理課長から資料にもとづき各事項別に説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。3. 昭和64年度図書館新規概算要求書（案）について。事務部長から資料にもとづき説明があり、質疑応答の後、原案どおり承認された。

—中之島分館運営委員会—

63. 3. 15(火) 16:00~17:00 (歯学部大会議室)

報告事項：1. 前回以降の主要行事 1) 図書館委員会報告 2) 生命科学図書館ワーキンググループ報告 3) 図書選定小委員会報告 4) 外国雑誌センター館会議報告その他の事項について報告があった。

協議事項：1. 覚書（案）について 2. 昭和63年度中之島分館資料費分担額（案）について 3. 附属図書館体系検討小委員会の委員の選出について、以上3件について協議した結果、覚書（案）については原案通り承認され、昭和63年度中之島分館資料費分担額（案）については昭和62年度と同額となった。附属図書館体系検討小委員会の委員の選出については協議の結果、藤田委員（医）の後任として橋本委員（医）、藤尾委員（微）の後任として上田委員（微）を選出した。

—中之島分館運営委員会—

63. 4. 19(火) 16:00~17:00 (中之島分館会議室)

報告事項：1. 覚書について 2. 諸報告 1) 細胞工学センター遺伝子情報ネットワーク 2) 松下会館取り壊し 3) その他、について現状報告があった。

協議事項：1. 昭和64年度概算要求事業別説明書（案）について 2. 昭和64年度歳出概算要求書（案）について、以上2件の（案）について協議した結果、原案通り承認された。

—工学部、吹田分館運営協議小委員会—

63. 2. 15(月) 15:30~16:30 (吹田分館会議室)

協議事項：吹田分館新館の複写機運用について。新館設置複写機の維持費およびコピー単価について協議した。

—附属図書館吹田地区運営委員会—

63. 3. 14(月) 13:30~14:30 (吹田分館会議室)

協議事項：吹田分館新館増築後の図書館の運営体制について。増築に伴う職員の配置、新

館の運用形態について協議した。

日 程

- | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|
| 63. 1. 27~29 | 昭和62年度国立大学附属図書館事務部長会議 | (千葉大学) |
| 63. 1. 29 | 昭和62年度近畿地区国公立大学図書館協議会主催研究集会 | (京都大学) |
| 63. 2. 15 | 吹田分館運営協議小委員会 | (吹田分館) |
| 63. 2. 22 | 生命科学図書館ワーキング・グループ会合（第22回） | (中之島分館) |
| 63. 2. 24 | 昭和62年度近畿地区国公立大学図書館協議会主催研究集会 | (本館) |
| 63. 3. 3 | 分館長会議 | (本館) |
| 63. 3. 8 | 外国雑誌センター館会議 | (如水会館) |
| 63. 3. 9 | 豊中地区運営委員会 | (本館) |
| 63. 3. 9 | 図書館委員会 | (本館) |
| 63. 3. 11 | 近畿地区医学図書館協議会例会（第43回） | (大阪歯科大学) |
| 63. 3. 14 | 附属図書館吹田地区運営委員会 | (吹田分館) |
| 63. 3. 15 | 中之島分館運営委員会（第74回） | (歯学部) |
| 63. 3. 15 | 生命科学図書館ワーキング・グループ会合（第23回） | (歯学部) |
| 63. 4. 18 | 昭和63年度近畿地区国立大学図書館協議会 | (京都大学) |
| 63. 4. 19 | 生命科学図書館ワーキング・グループ会合（第24回） | (中之島分館) |
| 63. 4. 19 | 中之島分館運営委員会（第75回） | (中之島分館) |
| 63. 4. 20~22 | 新入生対象附属図書館オリエンテーション | (本館) |
| 63. 4. 22 | 近畿地区医学図書館協議会例会（第44回） | (北野病院) |

人 事

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
		(採 用)	
	辻本 敏子	事務補佐員閲覧課閲覧第一掛	63. 4. 1
	津田 明子	〃 〃 閲覧第三掛	〃
	小林美樹子	〃 吹田分館目録掛	〃
		(昇 任)	
整理課課長補佐	河崎 戎三	国際日本文化研究センター管理部付 (4月8日付同センター情報管理施 設資料課長)	63. 4. 1
〃 図書館専門員	伊藤 祐三	整理課課長補佐	〃
〃 学術情報掛長	故選 義浩	整理課図書館専門員	〃
経理部経理課共済組合掛主任	中筋 健児	整理課会計掛長	〃
医学情報課文部事務官	伊藤 彰	整理課学術情報掛長	〃

		(配 置 換)	
山形大学庶務課長	若月 修	整理課長	63. 4. 1
整理課長	石川 亮	福島大学学生課長	〃
蛋白質研究所共同利用掛	新谷 吉成	整理課庶務掛長	〃
整理課庶務掛長	樺島 史明	庶務課企画調整掛長	〃
〃 会計掛長	小倉 明夫	教養部用度掛長	〃
工学部文部事務官	松原美重子	医学情報課受入掛	〃
		(退 職)	
閲覧課閲覧第一掛文部事務官	平林 和子		63. 3. 31
〃 〃 事務補佐員	藤塚 紫朗		63. 3. 30
吹田分館目録掛事務補佐員	松本 真樹		63. 3. 30

◎課名変更

国立学校及び国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令の一部を改正する訓令（昭和63年文部省訓令第16号）の規定により昭和63年4月8日付で下記のとおり変更となった。

一 記 一

変 更 前	変 更 後
整 理 課	情 報 管 理 課
閲 覧 課	情 報 サ ー ビ ス 課

